

7 目的別主要事業概要

1 議会費

議会においては、団体意思の決定や執行機関の監視を行う機能を担っており、その権限・役割を認識し住民の負託に応えるため、本会議、委員会等における議会活動を通じて、議案審議や執行機関に対するチェック、提言などを行いました。また、先進事例の調査や兵庫県町議会議長会主催の研修会へ参加するとともに、議会での審議の様子や結果をお知らせする議会広報紙を年4回発行しました。

提出された請願11件、陳情・要望等8件については、いずれも委員会に付託し慎重な審議を行った結果、国等に対して意見書4件を提出しました。

主な活動内容については、次のとおりです。

(1) 本会議の開催状況（平成22年4月～平成23年3月）

回数	回次等		会期日数	会議日数	一般質問者	傍聴者数
1	350定例会	6/11～6/25	15日	3日	11人	16人
2	351定例会	9/9～9/22	14日	3日	6人	8人
3	352臨時会	11/29	1日	1日	—	0人
4	353定例会	12/7～12/21	15日	3日	10人	4人
5	354定例会	2/25～3/25	29日	4日	8人	32人
合計			74日	14日	35人	60人

(2) 常任委員会の活動状況（平成22年4月～平成23年3月）

会議名		開会中	閉会中	計
常任委員会	総務建設	8回	2回	10回
	生活文教	7回	2回	9回
委員協議会	総務建設	4回	2回	6回
	生活文教	3回	2回	5回
各常任委員会の行政視察	総務建設	H22. 11. 9～10 ・高知県馬路村 ・高知県香南市		
	生活文教	H22. 11. 8～9 ・長野県東御市 ・長野県安曇野市		

※行政視察は回数に含まない。

(3) 特別委員会・その他の委員会等の活動状況（平成22年4月～平成23年3月）

特別委員会	議会広報特別委員会 <<16回>> (研修会) H22. 8. 25～26 ・第72回町村議会広報研修会 (東京都千代田区)
	新名神高速道路対策特別委員会 <<1回>>

その他の 委員会等	議会運営委員会 <<16回>> (行政視察) H22. 11. 1~2 ・神奈川県葉山町・神奈川県開成町
	全員協議会 <<3回>>

※行政視察は回数に含まない。

(4) 議案付議件数と審議結果 (平成22年4月～平成23年3月)

回次等	付議件数				審議結果等 (左の内訳)											
	町長提出議案	議員提出議案	請願	計	可決	修正可決	決議	否決	同意	認定	承認	議決不要	採択	不採択	その他	計
350定例会	9	1	2	12	7						3		1	1		12
351定例会	15	1	1	17	5				2	2				1		10
352臨時会	3			3	3											3
353定例会	9			9	9					7						16
354定例会	28	3	8	39	27				4				2	1		34
計	64	5	11	80	51				6	9	3		3	3		75

※町長提出議案には報告案件は含まない。議員提出議案には意見書案、決議案を含む。

(5) その他

ア 議会だよりの発行状況 年4回 (定例会毎に) 発行、印刷部数10,650部

第135号 (H22.4.30発行)、第136号 (H22.8.2発行)

第137号 (H22.10.29発行)、第138号 (H23.2.4発行)

イ 研修会参加状況

研修名	開催場所	開催月日	出席者
議長研究会	神戸市	7/5~6	議長
議会運営委員研修会	神戸市	8/17	議長、委員6人
市町正副議長研修会	神戸市	10/18	議長、副議長
議会広報研究会	神戸市	11/11	議長、委員5人
議長全国大会	東京都	11/17	議長
議員研究会	多可町	11/18	議長、議員13人

2 総務費

(1) 総務管理費

職員研修事務費では、多様化する住民ニーズに積極的かつ的確に対応し、常に新しい視

点と発想を持って行動できる職員を養成するため、引き続き基本研修、特別研修、派遣研修、職場研修、人権同和研修、メンタルヘルス研修、勤務評価研修等を実施しました。

交通安全啓発については、尊い人命を交通事故から守るため、全国交通安全運動等にあわせて町交通安全推進協議会と連携を図りながら年4回の街頭啓発や電光掲示板の活用などにより随時啓発を行いました。

一方、子どもや高齢者などの交通弱者の交通事故が多発していることから、子どもに交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるため、幼児を対象とした幼児交通安全教室（うさちゃんクラブ）の開催や保育園、幼稚園、小学校、子育てグループにおいて交通安全指導を行うとともに、川西警察署・川西交通安全協会の協力を得て、大陽猪名川自動車学校で高齢者を対象とした「シルバー安全運転講習会」を実施しました。

防災対策費として、猪名川町において阪神7市1町による広域防災訓練を図上訓練により実施しました。また、防災備蓄品の更新を実施しました。

防犯対策費については、空き巣や車上ねらいなどの犯罪の未然防止、子どもたちの安全確保や住民の防犯意識の向上を図るため、青色回転灯を装着した公用車による早朝及び勤務に合わせたパトロールを実施するとともに、自主防犯グループの青色回転灯装備車によるパトロールが拡大するよう支援しました。

また、暗がりを改善し、犯罪を起しにくい環境づくりに向けて、防犯灯44灯を新設しました。

コミュニティ推進事業費では、既に設立している7小学校区の「地域まちづくり協議会」を中心に、各自治会・地域における各種団体との横断的な連携・情報交換を図るとともに、住民の参画と協働による安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティのさらなる推進に向け支援を行いました。

団塊の世代生きがいがづくり事業費では、シニア世代の生きがいがづくり支援及び遊休農地の有効活用を図るため、シニアファーマー養成講座として、野菜づくり講座を実施しました。

環境管理システム事業費では、行政が地球・地域環境問題の改善に向け、環境負荷の低減や保全活動を率先して推進するため、平成14年に認証取得したISO14001（国際標準化機構）に基づく継続的な取り組みを進めるとともに出先機関も含めて、省資源、省エネルギーの取り組みを進めました。

広報事業費では、広報いながわを月2回（1日号・15日号）発行し、町政に関する情

報のほか、生活に役立つ情報などを広く町民の皆さんにお知らせしました。

広報メディア拡大費では、町ホームページを通じて、町内外に向けて行政情報、観光情報などを積極的に発信していくため、平成21年度に導入したホームページ支援システムにより、見やすくわかりやすいホームページづくりに努めるとともに、内容の充実に努めました。

法律・行政相談では、それぞれ月1回開催し計65件の相談を受けました。

国際交流事業費では、町国際交流協会へ補助金を交付し、同協会が実施した英語スピーチコンテスト、高校生姉妹都市派遣・受け入れ、英会話教室、日本語教室、チャレンジ英会話、会報誌ハローの発行などによって、国際交流・国際理解の推進と姉妹都市とのさらなる関係強化に努めました。

町内循環バス運行事業費では、公共施設を利用しやすく、また高齢者等で車を運転しない人の移動手段の確保を目的とし、公共施設循環バス「ふれあいバス」を引き続きバス2台で運行していますが、運行開始より10年が経過し、まもなく車両の更新時期となることから、地域の実情や利用者ニーズにあった運行路線等の再編を行うため2年間の路線等再編調査業務に着手し、利用実態及び住民アンケート調査等を実施し、町地域公共交通会議にて協議を行いました。

また、川西市立川西病院への新たな交通手段の確保を図るため、バスによる5カ月半の実証実験運行を行うとともに、利用実態調査や住民意向の把握を行いました。

電子計算管理事務費では、電子地図案内サービス「い～ナビいながわ」を実施し、電子地図を活用して公共施設や観光、イベント、安全安心に関する情報など、テーマごとのマップを作成し、既存のホームページの情報などとリンクさせてよりわかりやすく情報発信を行いました。

公平委員会費では、平成22年度も不服申し立てや措置要求はなかったものの、県や阪神間の研究会等に参加し、研さんを積みました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
職員研修事務費	兵庫県市町振興課研修	9人	その他財源 409 一般財源 2,828
	兵庫県自治研修所	22人	
	OA関係研修	20人	
	町村会研修	6人	
	その他研修	720人	
		3,237	

交通安全対策費	交通安全啓発横断幕 3枚 交通安全啓発看板 1枚 幼児交通安全指導 90回 交通安全啓発事業 年4回	5,208	その他財源 239 一般財源 4,969
駐輪場・駐車場 運営管理費	駐輪場管理 2箇所 駐車場管理 1箇所	22,339	その他財源 13,228 一般財源 9,111
広報事業費	広報の発行(年24回) 6,188,185円 広報板修理(7件) 279,300円	13,361	その他財源 450 一般財源 12,911
広聴事業費	法律相談(63件)行政相談(2件)の実施(月1回) 子ども議会開催(H22.7.12)	582	一般財源
広報メディア拡大費	広報ビデオ作成・放映	10,999	その他財源 540 一般財源 10,459
防犯対策費	防犯灯新設 44灯 防犯灯管理費	27,770	一般財源
環境管理システム事業費	環境マネジメント定期審査業務手数料 382,700円 職員運用研修委託料 165,140円	637	一般財源
いながわまつり開催費	いながわまつり実行委員会への補助金(第43回いながわまつり)	6,596	一般財源
団塊の世代生きがいづくり事業費	シニアファーマー 養成講座(野菜栽培基礎・応用コース) 参加者36人	1,222	その他財源 432 一般財源 790
コミュニティ推進事業費	地域コミュニティ活動支援事業補助金 2,400,000円 一般コミュニティ助成(紫合・柏原自治会) 4,800,000円	10,364	その他財源 5,695 一般財源 4,669
国際交流事業費	国際交流協会補助金 1,000,000円	1,844	一般財源
町内循環バス運行事業費	循環バス運行委託料 23,698,099円 利用者数 27,527人 川西病院行バス試験運行委託料 4,834,623円 利用者数 5,299人 循環バス路線再編等調査委託料 4,403,280円	33,318	県支出金 3,999 一般財源 29,319
電子計算管理事務費	電算保守委託料 10,531,478円 OA研修委託料 262,500円 無線システム普及支援事業費等補助金 3,112,000円	81,653	国庫支出金 3,112 一般財源 78,541

(2) 徴税費

公平で公正な賦課・徴収への取り組みとして、eL TAX(地方税ポータルシステム)を利用した国税資料の収集、公的年金からの特別徴収の実施及び電子申告による受付を開

始するとともに、平成24年度固定資産評価替えに向けた航空写真撮影を実施しました。
また、納税の利便性向上を図るため、コンビニエンスストア収納を開始するとともに、滞
納処分としてインターネット公売に取り組みました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
税務総務事務費	電算保守委託料 28,822,395円	79,077	県支出金 51,925
	航空写真撮影等作業委託料 9,030,000円		その他財源 2,535 一般財源 24,617
賦課徴収費	コンビニ収納サービス利用料 807,366円	7,590	その他財源

(3) 戸籍住民基本台帳費

戸籍及び住民基本台帳事務については、引き続き住民サービスの向上と事務の効率化を
目指し、各種証明発行窓口のワンストップサービスに取り組むとともに住民の異動届出等
の本人確認をするなど住民の個人情報の保護に努めました。

平成22年度中における出生・婚姻等の戸籍届出件数は1,216件、各証明書等の発
行件数は45,167件となっています。

平成23年3月末の総人口は32,551人で、平成21年度より68人の減となってい
ます。

(4) 選挙費

選挙事務については、平成22年7月11日に参議院議員通常選挙を執行するとともに、
平成23年4月10日に投票の兵庫県議会議員選挙を執行するための事務を行いました。

(5) 統計調査費

統計調査費については、平成22年国勢調査(基準日：平成22年10月1日)、工業統
計調査(平成22年12月31日基準日)を実施しました。

(6) 監査委員費

町の財務に関する事務の執行、経営に係る事業及び町の事務等について監査を行いまし
た。監査の活動状況は、次のとおりです。

定期監査（財務事務監査）	6回（年間）
例月出納検査	12回（年間）
決算審査	6日間
健全化判断比率等審査	1回
兵庫県町監査委員協議会	（総会）2回 （研修会）県2回、全国1回

3 民生費

老人福祉費においては、引き続き、町内各老人クラブ活動などを支援するとともに、在宅における高齢者に対し町社会福祉協議会と連携を図りながら、介護予防事業を実施しました。

障害福祉費においては、引き続き町内障がい者団体への支援を行うとともに、地域で暮らす障がいのある人の自立した生活を支援するため、町社会福祉協議会等の関係機関と連携を図りながら、障害福祉サービス事業を実施しました。

介護保険関係では、介護保険特別会計へ保険給付費の12.5パーセント相当分や、地域支援事業への負担分、事務費を合わせた222,417千円を繰り出しました。

社会福祉施設費においては、平成7年に開設した総合福祉センターの維持補修のため、屋上部の防水や入口銘板部の外壁などの修繕工事を行いました。

人権平和事業では、「人権についての意識調査」報告書を、引き続き人権・同和研修等で活用するとともに、人権教育セミナーや人権を考える町民のつどい等の人権啓発事業を実施し、差別の解消・人権意識の高揚に努めました。また、平和事業として戦没者追悼式や平和バスの運行を実施しました。

児童福祉費においては、子ども手当法が施行されたことにより、所得の有無にかかわらず15歳までの子どもを養育している親権者に対し、児童手当に子ども手当を加算して、子ども1人につき月額1万3千円を支給しました。さらに、乳幼児等医療助成では、平成22年4月から中学生の入院費の自己負担を無料としました。

認定子ども園整備を行うYMCA松尾台幼稚園に対し整備補助を行い、保育所の待機児童の解消に努めました。また、安心子ども基金を活用し、啓発パンフレット等を作成し、児童虐待への取り組みを強化しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 社会福祉関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
民生児童委員費	民生委員・児童委員活動費 地域福祉活動推進のための民生委員児童委員協議会に対する助成等	6,314	県支出金 3,622 一般財源 2,692
社会福祉協議会費	社会福祉協議会補助金	56,586	一般財源
人生80年いきいき住宅助成事業費	助成件数 25件	6,245	県支出金 3,122 一般財源 3,123
各福祉団体への補助金等	身体障害者福祉会 150,000円 手をつなぐ育成会 80,000円 川西保護区保護司会 70,000円 猪名川町遺族会 130,000円 猪名川町傷痍軍人会 20,000円 県遺徳顕彰会負担金 18,000円	468	一般財源

(2) 保険関連事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
介護保険対策費	介護保険特別会計繰出金 保険給付費分 185,296,000円 地域支援事業分 6,737,000円 事務費分 30,384,000円	222,417	一般財源

(3) 老人福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
老人クラブ活動等社会活動促進事業費	老人クラブ活動費補助 3,849,000円 クラブ数 42クラブ 会員数 2,099人 老人大学活動費補助 200,000円 老人クラブ連合会補助 1,072,000円	5,121	県支出金 2,256 一般財源 2,865
敬老会費	9月11日実施 対象者 4,222人、参加者 560人 高齢者表彰 (88歳=123人、99歳=6人、100歳=4人、)	6,776	その他財源 420 一般財源 6,356
敬老祝金費	9月1日現在、満77歳、88歳及び100歳以上で、引き続き1年以上住所を有している人 満77歳 10,000円 × 205人 満88歳 20,000円 × 84人 満100歳以上 30,000円 × 7人	4,004	一般財源

老人保護措置費	老人ホームへの入所措置 3月末現在入所者数 養護老人ホーム 1人	3,972	その他財源 362 一般財源 3,610
シルバー人材センター事業費	会員登録者数 男247人 女 68人	10,619	一般財源
老人医療助成制度	満65歳～69歳の人 受給者数 158人 受診件数 3,469件 対象人口 2,010人 一人当たり医療費 51,960円	10,005	県支出金 4,332 一般財源 5,673
在宅福祉事業費	高齢者生きがい活動支援事業 延べ利用者数 986人	2,342	一般財源
緊急通報システム運営事業費	緊急通報システム設置台数 3月末現在設置台数 98台	1,707	その他財源

(4) 心身障害者(児)福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
心身障害者(児)福祉金	給付人数・金額 身体障害者(児)福祉金 1・2級 390人 8,775,000円 3級 184人 1,472,000円 4～6級 377人 1,506,000円 知的障害者(児)福祉金 A判定 51人 1,147,500円 B1判定 25人 200,000円 B2判定 44人 176,000円 精神障害者福祉金 1級 20人 450,000円 2級 37人 296,000円 3級 15人 60,000円	14,083	一般財源
身体障害者(児)援護措置事業費	補装具給付事業 障害児 交付 21件 修理 7件 障害者 交付 8件 修理 13件 更生医療の給付 延24件 更生訓練費給付 延12人	8,302	国庫支出金 3,928 県支出金 2,639 一般財源 1,735
重度障害者医療費助成制度	身体障害者手帳1級・2級の交付を受けている人、療育手帳A判定の人又は精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている人 受給者数 210人 受診件数 3,940件 一人当たり医療費 125,052円	27,251	県支出金 13,062 一般財源 14,189

地域生活支援事業費	相談支援件数 延1,390件 福祉機器リサイクル件数 延617件 スポーツレクリエーション事業 延参加者数89人 点字・声の広報作成事業 点訳28回/年、音訳28回/年	14,779	国庫支出金 5,070 県支出金 4,398 一般財源 5,311
日常生活用具給付事業費	給付件数 延420件	4,218	国庫支出金 1,508 県支出金 829 一般財源 1,881
居宅生活支援給付事業費	移動支援事業利用者数 延237人 日中一時支援利用者数 延228人	8,037	国庫支出金 3,349 県支出金 1,675 一般財源 3,013
知的障害者自立生活訓練事業費	訓練日数 延757日 (町内実利用者数 17人)	1,578	県支出金 789 一般財源 789
心身障害者(児)支援事業費	居宅介護サービス 延89人 重度訪問介護サービス 延1人 生活介護サービス 延289人 施設入所支援サービス 延161人 旧法入所支援サービス 延32人 短期入所サービス 延83人 旧法身体通所サービス 延12人 旧法知的通所サービス 延192人 就労継続支援B事業 延125人 就労移行支援事業 延56人 自立生活訓練事業 延12人 共同生活援助事業 延12人 共同生活介護事業 延96人 児童デイサービス 延127人	164,621	国庫支出金 83,353 県支出金 45,953 一般財源 35,315
障害程度区分認定等事業費	審査会判定件数 21件 審査会開催回数 4回	628	国庫支出金 355 一般財源 273

(5) 社会福祉施設関係

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
総合福祉センター管理事業費	総合福祉センター管理委託料 73,533,000円 施設改修設計委託料 5,250,000円 維持修繕工事費等 25,095,000円	103,878	その他財源 30,556 一般財源 73,322
社会福祉会館管理事業費	社会福祉会館管理委託料	13,144	その他財源 1,309 一般財源 11,835

(6) 人権平等推進事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
人権平等事業費	人権啓発事業 人権教育セミナー 延べ 8回 参加者数 519人 人権を考える町民のつどい等 8・12月開催、参加者数 544人 戦没者追悼式 (6月2日、382柱) 平和バス (8月5・6日、23人参加) 人権についての意識調査報告書をもと に研修の実施	3,294	県支出金 742 その他財源 116 一般財源 2,436
男女共同参画事業費	男女共同参画事業の推進 講演会・学習会の開催等	65	一般財源
隣保館運営費	隣保館事業 パソコン・絵手紙・親子ふれあい教室 延べ69回、参加者数 579人	643	一般財源

(7) 児童・母子福祉事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
母子福祉金	給付世帯数 179世帯	1,702	一般財源
訓練施設通園事業費	心身障害児療育訓練事業 13人	12,728	一般財源
乳幼児等医療費助成制度	生まれてから小学3年生までの乳幼児 受給者数 3,220人 受診件数 46,408件 対象人口 3,293人 一人当たり医療費 21,439円 小学校4年生～中学校3年生 (入院のみ) 対象者数 2,191人 支払件数 27件 支払金額 1,363,793円	77,552	県支出金 19,420 一般財源 58,132
母子家庭等医療費助成制度	18歳に達する日以降の最初の3月31日 までの間にある児童を養育している母 又は父とその児童及び遺児 受給者数 393人 受診件数 3,687件 対象人口 432人 一人当たり医療費 21,077円	9,336	県支出金 3,077 一般財源 6,259

子ども手当等(特別)児童扶養手当事務費	家庭生活の安定と次代を担う児童の健全育成・資質の向上を図ることを目的として中学校修了前の児童を養育している人に支給 児童手当延べ児童数 被用者 1,108人 特例給付 52人 非被用者 254人 小学校修了前特例給付被用者 4,242人 小学校修了前特例給付非被用者 1,123人 子ども手当延べ児童数 46,840人	660,526	国庫支出金 502,449 県支出金 76,390 一般財源 81,687
子育て支援費	子育ての不安や悩みに対応することやグループの育成等の支援を実施 子育て相談 767件 子育てグループ 10組 センター利用者数延べ 6,737人	13,838	県支出金 4,316 一般財源 9,522
保育事業費	延べ人員 2,691人 3歳未満児 1,008人 3歳児 447人 4歳～5歳 1,236人 一時保育利用助成 延269日 民間保育所入所助成 延162月 認可外保育施設補助 6箇所 認定こども園整備補助 22,500,000円	230,965	国庫支出金 29,814 県支出金 34,390 その他財源 70,885 一般財源 95,876
児童館活動事業費	習字教室・英語であそぼクラブ・パソコン教室・美術ラボ 延べ 110回、参加者数 1,610人	1,125	一般財源

4 衛生費

(1) 保健衛生関係

新型インフルエンザ予防接種費用助成制度をはじめ、ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチンの予防接種を行政措置として実施しました。また、ワクチン接種費用を全額公費負担することで、住民の経済的負担を軽減し、疾病の発生の予防と住民の健康増進に取り組みました。

救急時などの不安軽減と医療機関情報の提供のため、平成21年度から引き続き実施している「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」は、健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスの相談・医療情報などに看護師、保健師、医師が24時間対応する無料の窓口

となり、安心した暮らしの支えとなりました。

平成20年度から保険者に義務付けされた特定健診・健康診査と各種がん検診を併せたセット健診化を引き続き進め、受診しやすい環境を整えるとともに、特定保健指導を実施し生活習慣病の予防・改善に努めました。

平成22年3月に策定しました「猪名川町食育推進計画」に基づき、「おいしい“ごはん” すすすく健康」をキャッチフレーズに個人、家庭、地域、関係機関等がそれぞれの役割を担い、町全体で食育の推進に取り組めるよう、平成22年度は啓発事業を中心に実施しました。

寝たきり予防を目的とした転倒予防教室や、いつまでもおいしく自分の歯で食べられるようにするための地区老人会での指導を引き続き実施するとともに、歯周疾患を早期に見出すことにより歯の大切さを再認識してもらう機会として、30歳から60歳までを対象にした節目検診を実施しました。

母子保健については、妊娠期間中の健康診査費用の助成を引き続き実施し、妊婦の健康増進を図りました。育児中の母親を対象に生活習慣病予防と食育の推進を目的とした、栄養相談会を実施しました。また、絵本を通して母と子がふれあう機会を増やすことを目的に、乳児健診における「赤ちゃん絵本ふれあい事業」を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等		決算額	財源内訳	
		H21(人)	H22(人)		
がん検診	子宮頸がん検診	1,668	1,818	59,676	国庫支出金 1,675 県支出金 1,855 その他財源 6,171 一般財源 49,975
	乳がん検診	1,386	1,316		
	肺がん検診	3,447	3,663		
	胃がん検診	1,938	2,094		
	腹部超音波検診	2,669	2,906		
	大腸がん検診	3,143	3,350		
	肝炎ウイルス検診	604	561		
	骨粗しょう症検診	1,192	1,350		
	前立腺がん検診	849	952		
特定健診・特定保健指導	特定健診 (40歳～74歳)	2,365	2,064	28,086	その他財源 23,008 一般財源 5,078
	健康診査 (75歳以上)	786	843		
	特定保健指導	19	17		

母子保健対策	母親教室	105	102	18,620	国庫支出金 435 県支出金 3,238 一般財源 14,947
	3・4カ月児健診	235	236		
	9・10カ月児健診	238	237		
	1歳6カ月児健診	285	231		
	3歳児健診	295	324		
	母親歯科健診	258	259		
	妊婦健康診査	350	266		
感染症対策	ポリオ生ワクチン	476	468	64,815	県支出金 5,308 一般財源 59,507
	日本脳炎予防接種	14	2,419		
	三種混合	1,033	1,116		
	MR	1,292	1,223		
	三種混合2期	239	256		
	胸部レントゲン	3,447	3,663		
	3価インフルエンザ予防接種	2,581	3,272		
	新型インフルエンザ予防接種助成	102	755		
	子宮頸がん予防ワクチン	—	264		
	ヒブワクチン	—	446		
	小児用肺炎球菌ワクチン	—	228		

(2) 環境衛生関係

火葬場運営事業については、指定管理者制度を活用する中で、適正な管理運営に努めました。年間の火葬件数は270体（町内178体・町外92体）、斎場利用件数は55件のうちホールと和室が40件、和室のみが15件でした。

また、昭和54年に設置した火葬炉の老朽化に対応すべく平成21度から2カ年事業で更新整備工事を行い9月末に工事が完了し、住民サービスの向上を図りました。

また、既存の駐車場スペースが狭小であることから駐車場拡張整備にかかる用地を購入しました。

ごみ処理事業については、引き続き国崎クリーンセンターにごみの搬入をしました。また、分別収集方法は、9種類17分類とし、排出抑制やごみ減量化に努めました。さらに、ごみ収集体制については、引き続き7コースで収集業務の充実に努めました。

また、ごみ減量化対策の一環として、事業所から排出される生ごみを業務用生ごみ処理機で堆肥化するとともに、焼却量の抑制による負担金の低減を図るべく生木・生草を破砕機でバーク堆肥化し、再資源化に努め、家庭菜園や畑の肥料として利用される方に生ごみ堆肥3.8トン、バーク堆肥315トンを無料配布いたしました。

また、最終処分場の周辺地下水及び浸出液処理施設からの放流水の水質検査とダイオキシン類の測定を実施しました。

し尿処理施設については、施設の老朽化に対応すべく、定期修繕工事等を行い維持管理に努めました。

合併浄化槽推進事業については、引き続き、猪名川町浄化槽管理組合による適正な維持管理及び設置者の負担軽減等を図ることを目的として管理費の補助を行いました。

また、不法投棄防止対策については、不法投棄防止パトロール員を配置し、町内全域の監視を行うとともに廃棄物の回収を行い、良好な生活環境の確保に努めました。

公害対策については、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動、さらには廃棄物不適正処理等に対して、関係法令に基づいた監視等を実施したほか、町公共施設における石綿含有調査を実施しました。

また、地球温暖化をはじめとした環境保全意識の高揚を図るため、パネル展示等による啓発を実施するとともに引き続き雨水貯留タンク設置の助成を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

環境衛生関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
畜犬対策事業費	狂犬病予防注射及び登録並びに死獣 処理委託料 2,185,140円	2,453	その他財源 1,810 一般財源 643
保健衛生推進事業費	保健衛生推進協議会補助金 1,189,000円	1,495	一般財源
環境美化推進事業費	クリーンアップ作戦ごみ袋代 229,635円	684	一般財源
合併浄化槽推進事業費	浄化槽維持管理補助(組員130人) 10,882,076円	10,891	一般財源
火葬場運営費	火葬場管理運営委託料	16,049	その他財源 7,282 一般財源 8,767
火葬場周辺整備費	用地購入費	1,463	一般財源
火葬場施設整備費	火葬炉更新整備費 69,825,000円	70,245	国庫支出金 54,526 一般財源 15,719

清掃関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
ごみ減量化対策費	再生資源集団回収奨励金 ・実施団体 上期 38団体 下期 36団体 ・回収量 1,622,691kg	12,982	一般財源
	ごみ減量化機器助成金 ・電気式生ごみ処理器 2基 ・コンポスト 1基	42	
	業務用生ごみ処理機保守点検委託料	630	
塵芥処理事業費	4トッパッカー車購入	7,664	その他財源 3,715
	ごみ収集委託費	66,660	一般財源 70,609
浸出液処理施設維持管理費	施設保守点検委託費	378	一般財源
	浸出液処理施設修繕費	4,410	
最終処分場維持管理費	水質検査分析費	598	一般財源
	ダイオキシン類測定分析費	205	
広域化事業建設負担金	広域ごみ処理施設運営事業負担金	271,509	一般財源

し尿処理関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
し尿処理施設維持管理費	収集運搬業務委託料	15,743	その他財源 2,072 一般財源 13,671
	運転維持管理業務委託料	18,554	その他財源 523 一般財源 18,031
	処理場定期修繕工事	7,560	一般財源

環境対策関係事業

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
環境対策事業費	猪名川本支流・ゴルフ場農薬の採水及び水質分析業務費 527,940円 アスベスト分析調査委託料 1,134,000円	1,834	一般財源
環境保全事業費	雨水貯留施設設置助成金 17基 486,205円	1,791	国庫支出金 225 一般財源 1,566

5 農林水産業費

農業委員会では、農地法等法令業務の適正処理に取り組むとともに違反する転用物件等のパトロールを実施し、その解消に努めました。また、年々増加傾向にある遊休農地の解

消に向け、国の緊急雇用対策事業の活用により、遊休農地等再生・活用計画事業として、所有者が担い手への農地あっ旋を希望する農地について復元を行い、77アールの農地について担い手への集積を行いました。

農政部門では、引き続きパイプハウス設置補助、そばの栽培支援さらに果樹苗木の購入補助を通じて地域水田農業推進協議会が策定した水田農業ビジョンの実現に向けた取り組みを関係機関との連携のもとに推進しました。

また、耕作放棄地の増加が進む中山間地域等において、農業生産の維持を図り多面的機能を確保する観点から、急傾斜農地を抱える4集落が締結した集落協定に基づく活動に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。

道の駅いながわをはじめとする農産物及び加工品の販売について、地産地消をさらに推進し、本町の特色ある加工品・特産品の開発ができるよう兵庫六甲農業協同組合、兵庫県、道の駅いながわ及び町などの関係機関が共同した取り組みや緊急雇用対策を活用した専門員を配置し、町内産を使用した食材による特産品創出の研究を進めるとともに、道の駅いながわのそばの館で提供しているそばの供給量の確保に努めました。

また、野生鳥獣の増加による農業被害の低減に向け、電気柵の設置事業を推進しました。

地籍調査事業については、新たに銀山地区を対象に土地の所在、地番、地目及び所有者を調査し、土地の境界確認、一筆地測量を実施するとともに、笹尾地区においては地籍図案、地籍簿案による本閲覧を行いました。

林業部門では、松くい虫によって荒廃が進む松林対策として、松くい虫伐倒駆除と併せて森林が県民全体の貴重な財産であるという認識のもとで都市住民を中心とした森林ボランティアによる松茸山再生事業において、保育作業を併せて行いました。

さらに、町域の8割を占める森林の整備方針を定めた「猪名川町森林整備事業計画」に基づき、町森林組合の指導のもとに森林整備地域活動支援交付金事業や環境対策育林事業に取り組み、事業地の拡大を図りました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 農業委員会費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業委員会総務事業費	農業委員会の開催等	7,305	県支出金 4,480
	委員会		その他財源 103
	農地法等審議		一般財源 2,722
	証明		

農業者年金事業費	加入促進、相談、資格審査等 被保険者 12人、受給権者 84人	72	その他財源
----------	------------------------------------	----	-------

(2) 農業総務費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業共済特別会計への繰出金	農業共済事業に対する事務費の繰出	12,969	県支出金 420 一般財源 12,549

(3) 農業振興費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
農業生産振興対策事業費	水田農業構造改革対策事業 ・ 水稲作付目標面積 207ha ・ 水稲作付実施面積 203ha ・ 確認筆数 7,142筆 ・ 作付率 98% ・ 農家戸数 973戸 品評会開催 (夏季・秋季) 2回 学童農園設置 8校幼保園	4,336	県支出金 2,725 一般財源 1,611
産地形成振興対策事業費	営農活性化支援事業 ・ 施設野菜等農産物生産基盤支援事業 (パイプハウス設置補助) ・ そば栽培支援事業 ・ 果樹産地システム化支援事業 (果樹苗木購入補助)	4,605	一般財源
中山間地域等直接支払交付金事業費	中山間地域等直接支払制度交付金 4集落 62.7ha	9,235	県支出金 6,874 一般財源 2,361
新山村振興特別対策事業費	新山村振興特別対策事業補助金 ・ 総合鳥獣被害防止施設 (電気柵) 内馬場・肝川・柏梨田・紫合・槻並・清水・清水東 L=20,780m	6,868	県支出金 3,831 その他財源 1,369 一般財源 1,668
農地・水・環境保全向上対策事業費	農地・水・環境保全推進協議会負担金 9集落10組織 106.8ha	1,262	県支出金 30 一般財源 1,232

(4) 農地費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
地籍調査事業費	笹尾地区地籍調査 0.30km ² 銀山地区地籍調査 0.10km ² 猪名川荘苑地区地籍調査 0.12km ²	10,227	県支出金 6,750 一般財源 3,477

(5) 林業費 (単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
森林保全対策事業費	森林組合活動育成等	1,303	一般財源

緑化推進事業費	県緑化協会負担金等 森林組合造林事業苗木配布	118	一般財源
松くい虫防除事業費	松くい虫立木伐倒駆除事業 伐倒量 100m ³	1,995	県支出金 864 一般財源 1,131
朽原めぐみの森運営事業費	森林ボランティア活動支援等	305	一般財源
森林整備事業費	森林整備地域活動支援交付金事業 70.0ha 環境対策育林事業 間伐実施面積 1.86ha	665	県支出金 398 一般財源 267

6 商工費

商工部門では、町内商工会員、小規模事業者の経営改善を図ることを目的とした経営改善普及事業、新産業創出に関する研究、イベント開催による商工業者のPR等、地域経済の活性化に向けた取り組みを支援しました。

また、観光情報等をタイムリーに提供できる情報発信基地として、日生中央駅前情報プラザINAGAWAの指定管理者に対して、特産品の展示販売等住民の利便性の向上を図るよう指導、助言に努めました。

農林商工業振興資金貸付金では、3,089,900円の回収を行うとともに、返済の遅れている債務者に対する再三の督促を行うなど、更なる回収に努めました。

また、中小企業信用保険法によるセーフティネット貸付けにおいては、21件の申請に対してすべて認定を行いました。

景気の低迷による雇用不安が続いている中、新たな雇用の創出を目指して国が実施する緊急雇用対策事業の活用により、本町においては10事業を実施し、55人の雇用創出を図りました。

観光部門では、町観光協会に対し秋山味覚まつり、新春マス釣大会等のイベント実施に対する支援を行うとともに、秋山観光のPR活動など観光客流入の促進に努めました。観光ボランティアガイドについては、更なる充実を目指し、各種イベントでの啓発活動に加え、平成22年10月から11月の2カ月間参画した「あいたい兵庫キャンペーン」では、銀山地域においてまち歩きを企画し、観光ボランティアガイドが悠久の館に常駐して観光客を案内しました。これら取り組みにより、平成22年度1年間で49団体、1,592人に対しガイドを行いました。

大野山管理運営については、大野アルプスランド、猪名川天文台（アストロピア）等の

適正な管理に努め、あじさいまつり、星まつり等のイベントを行い観光客の増加に努めるよう指定管理者に対し、指導、助言を行いました。

消費者対策として、年々複雑多様化する消費生活トラブルを未然に防ぐため、消費生活専門相談員による消費生活相談を週3回実施するとともに、隔月での広報いながわへのQ&A記事の掲載による啓発活動や、各種イベントにおける啓発活動に努めるなど、更なる消費生活トラブルへの対応の充実を図りました。

(1) 商工業振興費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
商工業振興事業費	商工会活動育成等 中小企業振興資金あつ旋制度預託金 10,000,000円	17,455	その他財源 13,383 一般財源 4,072
緊急雇用創出事業費	【ふるさと雇用再生事業】 ・遊休農地等再生・活用計画 ・特産品創出事業 ・大野山観光資源整備事業 【緊急雇用就業機会創出事業】 ・不法投棄防止対策事業 ・緑地樹木伐採事業 ・地域福祉コーディネーター事業 ・情報教育指導員設置事業 ・文化財の保存・活用強化事業 ・景観再生植林整備事業 ・銀山観光資源整備事業	27,456	県支出金

(2) 観光費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
観光高揚事業費	観光高揚事業 ・そば種子の配布 1,100kg	3,215	一般財源
自然歩道管理事業費	自然歩道管理事業	3,006	県支出金 253 その他財源 1,049 一般財源 1,704
大野山管理運営費	林産観光施設管理及び天文台運営管理委託等 天文台入館者 5,409人 あじさいまつり 4,500人 天体望遠鏡修繕	10,119	その他財源 819 一般財源 9,300

(3) 消費者対策費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消費者対策事業費	消費生活相談 150件	5,881	県支出金 3,730 一般財源 2,151

7 土木費

平成20年度より道路拡幅事業として実施しておりました、鎌倉地区の鎌倉1号線の拡幅工事が完了しました。町道柏原7号線、仁頂寺3号線、阿古谷3号線へのガードパイプ、防護柵などの交通安全施設の整備工事を実施しました。

そのほか、伏見台地区の町道伏見台4・6号線歩道修繕工事や橋りょうの長寿命化修繕計画書の策定を行いました。

都市計画については、都市計画審議会を開催し、広根ニューハイツ及び猪名川パークタウン内の住宅開発地に係る地区整備計画について審議を行いました。また、大島小学校区において地域に必要な建物が建築できるように特別指定区域制度の活用を検討し、地区土地利用計画及び特別指定区域の指定について協議を行いました。

公園については、47の公園と61の緑地の維持管理を行うとともに、松尾台地区では、住宅地等への倒木防止のための緑地間伐作業を行いました。また遊具の点検判定結果により危険度の高いものについては順次撤去を実施するとともに一部遊具の改修を実施しました。

景観対策では、景観法が施行されて以降の阪神間各市の景観に対する取り組み等について、情報交換を行いました。

また、違反広告物の一斉除去については、直営で取り組むとともに、屋外広告物の掲出に係る適正誘導に努めました。

新名神対策につきましては、完成6車線幅での関係地元自治会との設計協議が完了したことを受け、暫定4車線施工にかかる町の管理者協議をはじめ、猪名川パークタウンへの集団移転や用地買収の促進に関係した地元調整を行いました。

また、国・県・西日本高速道路㈱に対して事業促進がなされるよう要望いたしました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 道路橋りょう費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
道路河川愛護事業	道路河川愛護作業報償金36自治会 道路河川愛護作業保険料	1,076	
道路維持補修等	需用費（作業用消耗品、道路照明灯電気代、燃料、修繕料） 道路補修材料費（道路愛護作業資材、融雪剤等） 備品購入費（作業用機械器具）	18,874	国庫支出金 8,555 その他財源 61,714 一般財源 58,323

道路管理委託料	除草、剪定、側溝清掃、除雪等	62,480	
維持修繕工事費	猪名川台1号線、民田6号線、柏原2号線、木津31号線、笹尾8号線 他	32,363	
交通安全施設整備工事費	交通安全施設設置（柏原7号線、仁頂寺3号線、阿古谷3号線 他） ガードパイプ、区画線、カーブミラー等	4,800	
伏見台4・6号線歩道修繕工事費	97箇所 舗装工、縁石工、道路植栽工、除根工	8,999	
道路拡幅工事費	鎌倉1号線 道路拡幅工事：L=127.6m W=2.7~4m	22,576	国庫支出金 15,000 一般財源 7,576
橋りょう維持補修等	橋りょう点検委託料	2,726	国庫支出金 1,210 一般財源 1,516

(2) 都市計画費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
都市計画審議会	2回開催	210	一般財源
都市景観対策事業費	阪神地区景観行政連絡協議会3回開催 違反広告物撤去は直営で実施	78	その他財源
新名神対策事業費	猪名川地区対策協議会 7回開催 関係地元自治会との協議 23回開催	515	その他財源 415 一般財源 100
建築営繕費	阪神間7市1町建築営繕連絡協議会における営繕・住宅建設工事施工単価表作成業務委託料等	891	一般財源
公園緑地維持管理費	公園・緑地維持管理 都市公園 36箇所 38.4ha その他公園 11箇所 0.64ha 合計 47箇所 39.04a 緑地法面 61箇所 98.1ha	102,437	その他財源 2,556 一般財源 99,881

(3) 住宅費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
住宅維持管理費	町営住宅の修繕等の維持管理業務	2,712	その他財源

8 消防費

平成22年度は、宝塚市、川西市及び猪名川町の2市1町で消防通信指令業務の共同運用を行うため、宝塚市消防本部内に消防指令センターを開設し仮運用を開始しました。また、宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会へ職員1名を派遣し消防広域化に関する協議検討を行いました。

救急業務については、救命率の向上を図るため、公共施設に設置されているAED（自

動体外式除細動器)の維持管理を行うとともに、AEDの使用を含めた救命講習会を積極的に開催しました。更に、救急アドバイザーによる出前講習を通じて応急手当の普及啓発を図りました。

職員研修については、救命処置の拡大に伴う対応として、特定の薬剤を投与するための講習、気管内にチューブを挿入し気道を確保するための講習等に救急救命士3人を派遣し、高度救命処置に対応できる体制の充実強化に努めました。また、救急救命士以外の職員に対しても、消防事務の多様化及び高度化に対応するため各種派遣研修を実施し、職務遂行能力と職員の資質の向上に努めました。

一方、引き続き自主防災組織の活動を充実させるため、各種訓練等の指導を行うほか、各消火栓に設置されている消火栓用ホース格納箱及び資機材を整備し、自主防災組織の育成を支援しました。

平成22年中の火災件数は9件で、前年より1件増加しました。火災種別は、建物火災4件、林野火災2件、車両火災が1件、その他火災2件となっています。出火原因については、風呂がま、溶接機、たばこ、たき火、火遊びなどでした。救急出動件数は1,279件(1日平均3.5件)で、前年より194件増加しました。また、搬送人員は1,240人で町民の25.5人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。救助出動件数は13件、各種警戒、誤報等のその他出動件数は86件でした。

主な事業内容については、次のとおりです。

(1) 常備消防費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
職員研修費	救急隊員、救急救命士の育成 延72人 その他の派遣研修 延25人	3,306	一般財源
機械・器具管理費	空気呼吸器用高圧容器 2本 消防用ホース 8本 消防自動車維持管理費 15台	8,054	一般財源
救急活動費	施設設置用AED賃貸借 31台 救急活動消耗品 一式	5,336	一般財源
自主防災組織育成費	消火栓用ホース格納箱及び関連資機材 一式	1,294	一般財源

(2) 非常備消防費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消防団管理費	消防団退職報償金 30人 消防ポンプ等管理費補助 31台 消防団員福祉共済掛金 430人 消防用ホース 10本	40,188	その他財源 14,011 一般財源 26,177

(3) 消防施設費

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
消防施設整備事業費	2市町指令システム共同運用負担金 宝塚市、川西市及び猪名川町指令システム共同運用負担金	64,629	一般財源

9 教育費

(1) 教育総務費

幼児・児童生徒一人ひとりの良さや可能性を伸ばすとともに、地域に開かれた学校づくりをさらに推進するため、「わくわくスクールプラン」に基づき、就学前教育から小学校・中学校の連携・一貫教育及び学校・家庭・地域の連携深化を目指す取り組みを推進しました。

国際理解教育及び国際交流事業として、中学生12人・引率教職員2人を姉妹都市（バラット市）へ派遣し、相互の国際理解と友好親善を図りました。

留守家庭児童育成室については、利用者のニーズに応え、町内全小学校で実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
わくわくスクールプラン推進事業費	就学前教育から中学校教育までの連携・一貫教育の推進及び地域の教育力を生かした特色ある学校づくり	2,952	一般財源
放課後児童健全育成事業費	留守家庭児童育成室の開設 7小学校（平成23年3月末現在の在所児童数144人） 前後1時間の特別延長（猪名川小学校、松尾台小学校、白金小学校、つつじが丘小学校）	52,694	県支出金 6,045 その他財源 10,868 一般財源 35,781

(2) 小学校費・中学校費

児童・生徒が、その人格確立期において健康的な生活習慣を習得し、成人期における生活習慣病の予防対策に資するべく、小学校4年生と中学校2年生を対象に生活習慣に関するアンケート調査を実施し、その結果に基づき、生活習慣の改善にかかる講演会を開催しました。

各学校及び中学校ブロックごとに、確かな学力の向上と心の教育の充実及びたくましい

体力づくりを目指し、児童生徒の実態や地域の特性に応じた活力ある教育活動を推進しました。

また、自然体験や社会体験などの体験活動の機会を充実させるために、「自然学校」「環境体験」「トライやる・ウィーク」を実施しました。学校だけでは学べない体験活動を通して、自ら学ぶ意欲や、自然に対する畏敬の念や共に生きる心、こころ豊かにたくましく生きる力の育成を図るとともに、学校と保護者・地域住民との信頼関係を深める有意義な活動となりました。

さらに、英語によるコミュニケーション能力を高め国際性豊かな子どもを育成することを目指し、バララット市から招へいた外国人英語指導助手による中学校での生きた英語教育と、小学校の新学習指導要領の実施に向けた外国語活動や国際理解教育の充実に取り組みました。

太陽光発電システム設置事業については、国の交付金などを活用し、既に設置済である楊津小学校、大島小学校を除く全ての小中学校に設置しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
小児生活習慣病予防対策事業	調査アンケート統計業務委託 (対象者733人、提出者567人、回収率77.3%)	651	一般財源
外国人英語指導助手雇用	各中学校外国語教育 各小学校英語活動・国際理解教育	11,244	一般財源
小学校自然学校事業	小学校7校(5年生4泊5日) 小学3年生の環境学習	7,034	県支出金 3,515 一般財源 3,519
中学校自然学校事業	中学校3校(1年生2泊3日)	1,170	一般財源
トライやる・ウィーク事業費	中学2年生の体験活動	2,550	県支出金 1,275 一般財源 1,275
学校施設整備事業費	小・中学校営繕工事(設計含む)	41,283	一般財源
太陽光発電システム設置事業費	小・中学校太陽光発電システム設置のための設置工事費 ※楊津・大島小学校は既に設置済み	150,875	国庫支出金 150,800 一般財源 75

(3) 幼稚園費

豊かな心情を育み、主体的に行動する幼児の育成を目指して、教育要領に基づく教育の実践に努めました。

また、2年保育に対応した幼稚園教育の一層の充実を図るため、積極的に実践的教育研究事業に取り組みました。

(4) 社会教育費

社会経済環境の変化が進み価値観が多様化する中、生涯学習に対する意識の高まりを受け「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶことのできる多種多様な学習機会の充実に努めました。

文化財事業では、多田銀銅山遺跡詳細分布調査（平成18年～22年）の成果をまとめた調査報告書を刊行しました。また、町内に所在する神社の概要調査に着手し、重要な神社建築物については詳細調査を行い、柏梨田「太刀脇神社本殿」を町指定文化財として指定するなど、文化財の保存・保護に努めました。

青少年の健全育成事業では、青少年健全育成推進会議を中心として組織活動の活性化に取り組むとともに、「笑顔であいさつ、ふれあい地域」を合言葉に、地域の大人と子どもの関わりを大切さを啓発しました。また、地域の安全を守るため「子どもを守る110番のおうち」の定期的な見直し及び新たな設置に加え、「子どもを守る110番のくるま」の普及に努めるなど、学校、家庭、地域の連携をより深める取組みを展開するとともに、ほたるの夕べ、ふるさといながわ再発見事業など身近な自然を活用した体験学習事業の実施や音楽フェスティバル『BEAT!』を青少年が中心となり実行委員会を編成し、企画運営するなど次代を担う青少年の健全育成に努めました。

青少年指導員においては、夜間や町内イベント開催時にパトロールを行い、青少年の問題行動の早期発見・早期指導に努め、地域及び近隣市と連携し、青少年の非行防止に努めました。

さらに、放課後子ども教室においては、2教室を開設し、地域団体の運営により、子どもたちの文化活動、ふれあい学習事業等をそれぞれ40回以上の実施を行い、子どもたちの安全安心な居場所の確保に努めました。

学校支援地域本部事業では、「学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる」を合言葉に学校支援ボランティアを募り、各幼稚園、小・中学校からの支援要望に応じた派遣を実施いたしました。

こころ豊かなまちづくり推進事業では、芸術活動への意欲・関心の拡大と感性を高め、豊かな心の育成を図ることを目的として、実行委員会組織により開催された第10回町展へ

の支援を行いました。

人権教育事業においては、女性、子ども、高齢者等あらゆる差別の解消に向け、町人権・同和教育研究協議会への助成を行い、専門部会活動の活性化に取り組むなど、人権についての認識を深め、人権教育及び人権啓発の推進に努めました。

図書館では、魅力ある蔵書構成を図りながら全国の図書館、専門機関とも連携し、住民一人ひとりが求める多様な資料・情報を迅速に提供できるように努めました。また日生図書館の開室・移動図書館の運行などを実施するとともに、幼児期から本と出会う機会づくりとして、乳児向け絵本の紹介冊子を配布し、ボランティアと連携して子どもの読書推進に努めました。

公民館では、「生涯学習カレッジ リバグレス猪名川第13期」を開講し「いながわ学」「くらしと環境学」の2コースと、オープン講座として自由に聴講できる3講座を開催しました。このほか公民館講座として11講座を実施し、公民館活動の場となる貸館事業にも努めました。

文化体育館では、芸術文化活動の発信基地として、幼児から高齢者までの幅広い年代が質の高い舞台芸術鑑賞や文化、スポーツの普及を目的とした自主事業として8事業を実施し、うち2事業は、文化協会、体育協会との参画と協働のもとに合同事業を実施しました。また、平成3年の開館以来19年を経過し、建物・設備の経年劣化が進んでいることから、放送設備と非常用館内監視システム及び屋上防水等の改修工事を実施しました。

主な事業内容については、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
社会教育総務事務費	施設予約情報システムの運用 社会教育施設業務の委託	62,324	その他財源 6,315 一般財源 56,009
こころ豊かなまちづくり運動推進事業費	町展開催の支援	800	一般財源
青少年健全育成事業費	青少年指導員夜間パトロール BEATの開催支援 成人式の開催 子ども会連絡協議会事業 ほたるの夕べ開催支援 ふるさといながわ再発見事業	7,301	一般財源
放課後子ども教室運営事業費	放課後、週末等における地域子育ての支援	730	県支出金 329 一般財源 401

文化財総務事務費	多田銀銅山遺跡詳細分布調査報告書 指定文化財管理助成 国指定 1件・県指定 10件 町指定17件	5,219	国庫支出金 1,100 県支出金 550 その他財源 31 一般財源 3,538
ふるさと館管理運営費	郷土の歴史・民俗講座の開催 管理運営 屋根改修工事	23,008	国庫支出金 14,000 その他財源 246 一般財源 8,762
多田銀銅山悠久の館管理運営費	管理運営	5,356	その他財源 83 一般財源 5,273
学校支援地域本部事業費	ボランティアコーディネーターの設置 学校支援ボランティアの登録・派遣	1,828	県支出金 1,722 一般財源 106
公民館運営活動費	管理運営 リバグレス猪名川（2コース） 公民館講座（11講座）	4,225	その他財源 859 一般財源 3,366
図書館管理運営費	管理運営 図書購入	45,557	その他財源 1,450 一般財源 44,107
文化体育館管理運営費	自主事業の開催（8事業） 管理運営	59,149	その他財源 11,955 一般財源 47,194
人権教育推進費	地域に学ぶ体験学習支援事業 資料収集及び研究調査 町人権・同和教育研究協議会助成	8,265	県支出金 80 一般財源 8,185

（5）保健体育費

だれもが生涯にわたって気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しみ、交流を深めながら健康づくりや体力づくりを行うことのできるよう、「いつでも、どこでも、だれでも気軽に」楽しめる地域スポーツのつどいなどの各種大会や軽スポーツの講習会を実施しました。

B&G海洋センター及びスポーツ施設については、指定管理者制度による運営を継続的に進め、民間活力の導入を図りました。

また、健康・体力づくりを支援するため、各小学校区に設立されたスポーツクラブ21の活動支援を行うことで、地域スポーツの場として、身近な場所で気軽にニュースポーツを楽しむ機会の提供に努めました。

学校給食センターでは、学校給食の安全・安心を図るため、給食用物資の選定を厳正に行うとともに、衛生管理の強化と調理員の衛生意識の向上に努めました。

主な事業内容は、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名等	事業内容等	決算額	財源内訳
保健体育総務事務費	スポーツ教室 子ども水泳教室 ジュニアリーダー養成講座 学校プール開放事業 小学校区体育大会支援 スポーツクラブ21推進 町体育協会補助等	10,182	その他財源 59 一般財源 10,123
彫刻の道マラソン大会費	マラソン大会実行委員会補助等	1,973	一般財源
千軒グラウンド・キャンプ場管理運営費	管理運営	1,815	一般財源
スポーツセンター管理運営費	管理運営	67,299	国庫支出金 33,646 一般財源 33,653
猪名川町B&G海洋センター管理運営費	管理運営	13,480	その他財源 2,710 一般財源 10,770
学校給食センター管理運営費	管理運営 給食実施 幼稚園 93日 小・中学校 183日	72,984	その他財源 56 一般財源 72,928

10 災害復旧費

災害復旧費において支出する災害復旧事業は、発生しませんでした。

11 公債費

平成22年度の地方債の償還金は、元金985,815千円、利子130,036千円の合計1,115,851千円となっています。

各借入先及び事業別の地方債の現在高等は、次のとおりです。

【借入先別】

(単位：千円)

区分	平成21年度 末現在高	平成22年度 発行額	平成22年度 償還元金	平成22年度 末現在高
政府資金	5,916,300	75,697	743,187	5,248,810
財政融資資金	4,238,262	75,697	581,929	3,732,030
旧簡易保険資金	129,803	0	22,157	107,646
旧郵便貯金資金	1,548,235	0	139,101	1,409,134
地方公共団体金融機構	545,691	405,699	60,846	890,544
自治協会	38,494	0	7,772	30,722
市中銀行	766,830	200,000	86,330	880,500
農業協同組合	217,480	0	75,420	142,060
県市町村振興協会	39,060	0	12,260	26,800
合 計	7,523,855	681,396	985,815	7,219,436

※ 四捨五入の関係から平成21年度末現在高を前年度より一部変更しています。

【事業別】

(単位：千円)

区 分	平成21年度 末現在高	平成22年度 発行額	平成22年度 償還元金	平成22年度 末現在高
1 普通債	7,489,451	681,396	981,009	7,189,838
(1) 総務	3,999,862	681,396	350,295	4,330,963
(2) 民生	40,412	0	9,735	30,677
(3) 保健衛生	57,309	0	4,537	52,772
(4) 清掃	147,117	0	76,838	70,279
(5) 農林水産	4,454	0	1,556	2,898
(6) 土木	939,678	0	158,619	781,059
(7) 住宅	31,665	0	2,950	28,715
(8) 住宅資金貸付	1,205	0	280	925
(9) 都市計画	224,843	0	184,836	40,007
(10) 消防	77,550	0	20,204	57,346
(11) 教育	1,965,356	0	171,159	1,794,197
2 災害復旧債	34,404	0	4,806	29,598
(1) 土木	34,404	0	4,806	29,598
合 計	7,523,855	681,396	985,815	7,219,436

※ 四捨五入の関係から平成21年度末現在高を前年度より一部変更しています。

1 2 諸支出金

基金等の平成22年度中の増減及び平成22年度末現在高は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分			平成21年度 末現在高	平成22年度 中の増	平成22年度 中の減	平成22年度 末現在高	
定額運用 基金	土地開 発基金	土 地	0	0	0	0	
		現金等	621,900	0	0	621,900	
積 立 基 金	財政調整基金		2,169,304	162,721	0	2,332,025	
	減債基金		1,100,184	10,965	6,880	1,104,269	
	特定 目的 基金	環境整備基金		781,052	328,891	25,000	1,084,943
		福祉基金		213,257	100	0	213,357
		うるおいとやすら ぎの創造基金		284,452	59	0	284,511
		奨学基金		31,700	1,051	0	32,751
合 計			5,201,849	503,787	31,880	5,673,756	

※ 奨学基金（特別会計）を含む。

四捨五入の関係から歳入歳出決算額と一致しない場合があります。